

市町村名	北大東村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-① 観光アクセス道路美化緑化推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-3-(2)-ア		
担当部課名	建設課	事業実施 (予定)年度	平成24年度～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	「新しい生活様式／ニューノーマル」に おける安全・安心で快適な観光の振興	
事業内容	観光地周辺・重要アクセス道路の修景及び美化の実施を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。						
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度(年度)						
実施方法	□ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	3,000	2,500	2,500	2,440	12,408
		(b) 予算現額	3,207	1,551	2,500	1,469	12,408
		(c) 増減額 (b-a)	207	▲ 949	0	▲ 971	0
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計 (b+d)	3,207	1,551	2,500	1,469	12,408
	B. 執行済額		3,098	1,551	1,040	1,469	6,239
	うち交付金充当額		2,478	1,240	832	1,175	4,991
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		96.6%	100.0%	41.6%	100.0%	50.3%
予算の状況の説明		不用額の6,169千円については、悪天候等により業務量を縮小したことによるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	アクセス道路及び周辺道路の美化実施:3,000m(10箇所)	目 標	(2,500m 10箇所)	(2,500m 10箇所)	(2,500m 10箇所)	(3,000m 10箇所)	
		実 績	2,500m 10箇所	2,500m 10箇所	2,500m 10箇所	3,000m 10箇所	
	・作業員配置 4名 ・重機による作業 2回	目 標	(4名)	(4名)	(4名)	(4名 2回)	
		実 績	3名	2名	2名	4名 2回	
達成 状況 説明	継続的に清掃員の募集を行い、一時的に目標人数に達したが、継続的な雇用には至らなかったが、村職員等で不足分のアクセス道路及び周辺道路の美化を実施することで、観光客等の受入体制が整備できた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実 績		88%	82%	93%	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					

	進捗状況説明	観光客等の受入体制の整備・誘客促進・観光振興に関するアンケート検証を行った結果、93%の方から魅力的な景観形成が図られたとの回答が得られた。
--	--------	--

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本年度より個人による実施に加え、重機による観光地周辺・重要アクセス道路の修景及び美化を新たに実施した。	島内で重機による作業を行える事業者に限りがあり、作業日数の確保が課題となった。
今後の取り組み方針		
引き続き人員確保に努めるとともに、重機による作業を行える事業者との連携を密にし、観光アクセスに重要な道路や周回道路の改修及び美化を図る。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
		<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>6,239</td><td>6,239</td><td>4,991</td><td>1,248</td><td>0</td></tr></table>			総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,239	6,239	4,991	1,248	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,239	6,239	4,991	1,248	0										
北大東村 6,239千円 委託料 6,239千円 道路清掃員 1,696千円 (株)与儀組 4,543千円 作業委託料 4名 観光アクセス道路 美化緑化推進委託														
資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託職員については、村内求人・給料表と併せて適正に選定し、委託業務については、3社見積りにより作業単価を設定しており、妥当であった。 ○予算規模については、悪天候等により5割ほどの執行残が発生した。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

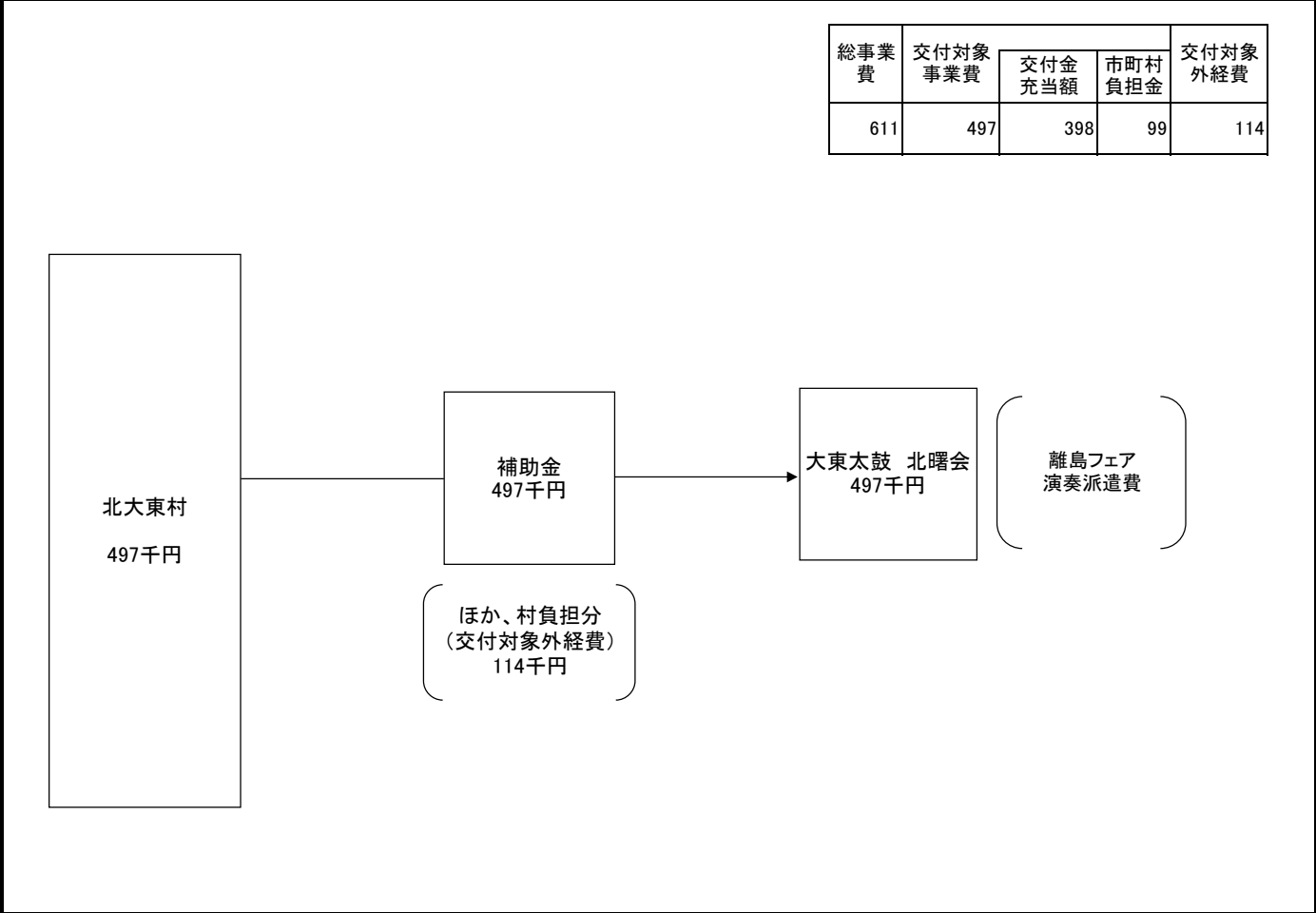
市町村名		北大東村					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-② 地域の観光文化資源の担い手育成事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-1-(4)-イ		
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度		文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり		
			沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-1-(1)		
事業内容	伝統文化である大東太鼓の担い手を育成・確保し、魅力を積極的に発信することによって観光誘客を図るため、島外の交流イベント等に参加する演者の渡航費を補助する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R5年度
	予算の状況	(a)当初予算額	2,000	3,000	1,000	1,000	1,323
		(b)予算現額	2,068	2,500	1,000	0	612
		(c)増減額(b-a)	68	▲500	0	▲1,000	▲711
		(d)繰越額	—	—	—	—	—
		A.計(b+d)	2,068	2,500	1,000	0	612
	B.執行済額		1,719	1,886	0	0	611
	うち交付金充当額		1,375	1,508	0	0	398
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		83.1%	75.4%	0.0%	#DIV/0!	99.8%
予算の状況の説明		事業費の確定に伴い、711千円減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
				R1年度	R2年度	R3年度	R5年度
	文化交流イベントの開催:4回 (県内:1回)	目標	(5回)	(4回)	(0回)	(4回)	
		実績	5回	0回	0回	4回	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	文化交流イベントの開催を当初県内1回、島内3回計画しており、県内イベントとして離島フェアへ開催期間3日間の演奏出演(1回)、村内行事として地域職員歓・送迎会、大東宮祭へ演奏出演し(計3回)、太鼓交流事業を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(H26年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(R5年度)
	島の観光入客者数:1,100人以上	目標	(1,000)	(1,100)	(1,100)	(1,100)	(1,100)
		実績		385	1,186		
		目標	()	()	()	()	()
実績							

	進 捗 状 況 説 明	入域観光客数については、コロナウイルスによる規制解除の影響により前年度から増加(+801人)し、約108%の達成率となった。
		※島の観光入客数は沖縄県地域・離島課の「離島関係資料」の公表時期の関係上、直近の数値は令和4年度(令和4年3月～令和5年2月)である。

取 組 の 検 証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルスの影響で令和2年度から令和4年度まで事業の実施ができない現状であったが、これまでの功績が評価され公益財団法人日本ユネスコ協会連盟が選ぶ、『プロジェクト未来遺産』に登録された。	引き続き、『大東太鼓』を後世に継承し、島外イベントで演奏する機会をとおして、北大東村をPRし、島への観光客誘致、活性化に繋げていく。

今後の取り組み方針	
北大東島の文化資源である『大東太鼓』の魅力を発信することで更なる観光誘客に努めるとともに、より多くの方に大東太鼓を披露できるよう今後も練習などの取組を通して新たな人材の演者の育成に取り組んでいく。	

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)	
---	--



資 金 の 流 れ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金支出先については、太鼓指導を実施しているのが1団体のみであることから、選定は妥当であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、概ね適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において、北大東村交付要綱に基づいて支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北大東村					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	オンライン双方向授業支援モデル事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	公平な教育機会の確保と学習環境の充実		
					Ⅲ-9-2		
事業内容	村営塾を開講し、児童生徒の個々の学力に応じた学習支援員による指導及び、ICTを活用した現役東大生によるオンライン双方向授業を実施し、児童生徒の学力向上を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	14,500	14,500	14,500	14,950	15,000
		(b)予算現額	13,500	13,382	14,500	14,401	15,000
		(c)増減額(b-a)	▲1,000	▲1,118	0	▲549	0
		(d)繰越額	—	—	—	—	—
		A.計(b+d)	13,500	13,382	14,500	14,401	15,000
	B.執行済額		12,641	13,382	13,588	9,184	10,262
	うち交付金充当額		10,112	10,705	10,870	7,346	7,501
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		93.6%	100.0%	93.7%	63.8%	68.4%
予算の状況の説明		他事業へ計2,456千円の流用を行った。 不用額の2,282千円については、県内の教員不足も相まって学習支援員の配置が7月からとなったことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	学習支援員の配置:1名	目標	(1名)	(1名)	(1名)	(1名)	
		実績	1名	1名	1名	1名	
	東大生によるオンライン双方向授業: 授業数66授業/年、講師10名	目標	(10名)	(10名)	(10名)	(10名)	
		実績	20名	10名	12名	14名	
達成状況説明	教員不足も相まって学習支援員の配置が7月の配置となったが、きめ細やかな授業を実施する為に必要な学習支援員を目標どおり配置することができた。						

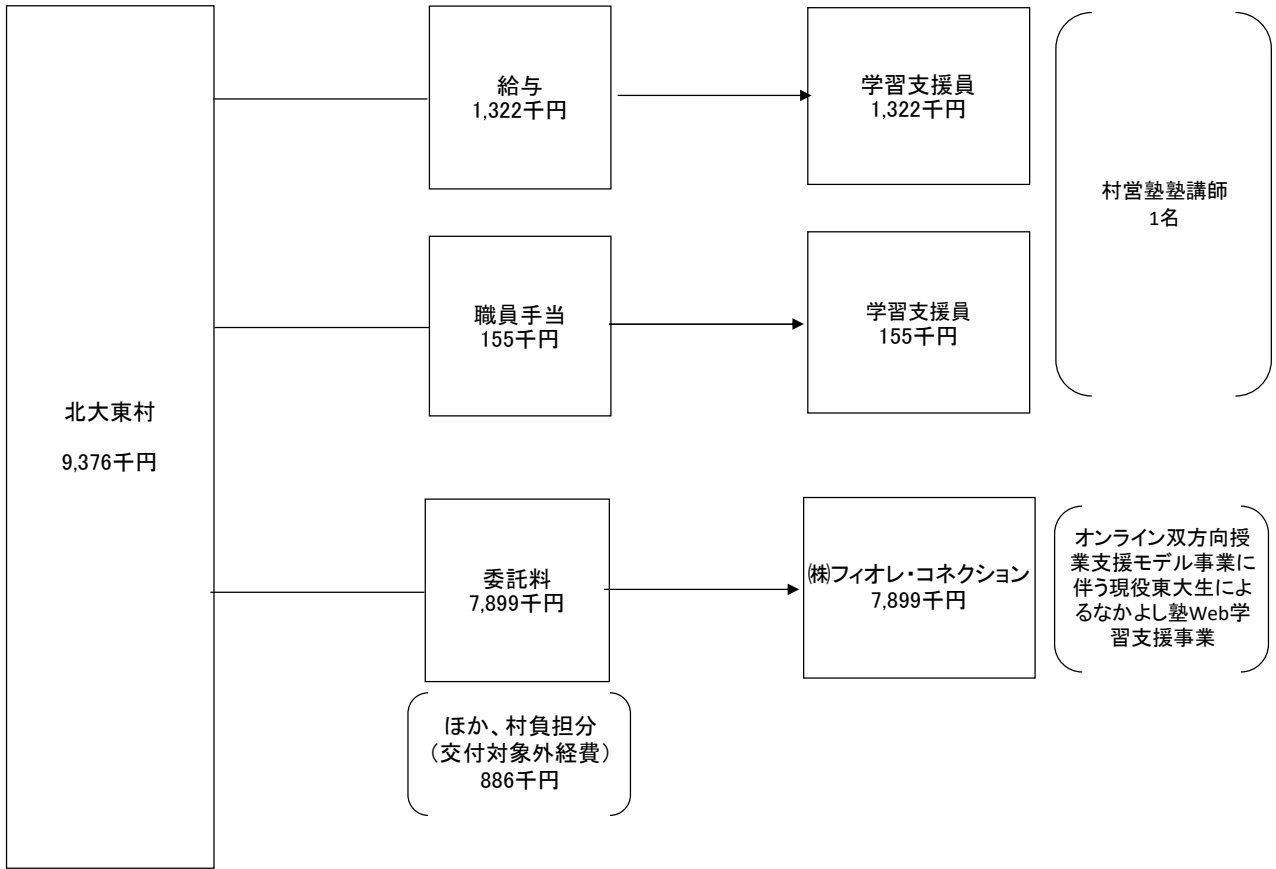
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	令和5年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 ①小学校 県平均以上 ・5年生:算数、国語 ・6年生:算数、国語	目 標	()	(県平均以上)	(県平均以上)	(県平均以上)	()
		実 績		平均以下 県 55.2% 村 45.5%	平均以上 県 60.1% 村 65.3%	平均以下 県 59.2% 村 54.9%	
	令和5年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 ①中学校 県平均以上 ・1年生:数学、国語、英語 ・2年生:数学、国語、英語	目 標	()	(県平均以上)	(県平均以上)	(県平均以上)	()
		実 績		平均以上 県 47.8% 村 52.9%	平均以上 県 48.2% 村 50.7%	平均以上 県 44.6% 村 45.9%	
	進 捗 状 況 説 明	オンライン双方向授業の実施により、現役東大生の指導を通して教育環境格差の解消が図られ、児童・生徒の学習に対する習慣や姿勢が身に付いてきているが、沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差は小学校の県平均には届かなかった。また、沖縄県学力到達度調査における中学校の県平均を上回っており、尚且つ高校受験において全員合格の実績を得られた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	現役東大生の指導についてこれない児童生徒が毎年度各学年に一定数発生している。	現役東大生の指導についてこれない児童生徒に対する個別での追加支援が必要となっており、村営塾の学習支援員を活用した個別指導による学習能力に応じた個別対応を実施している。
今後の取り組み方針		
・引き続きオンライン双方向授業の講師や村営塾の学習支援員と連携を図りながら、個々の学習能力に配慮したきめ細やかな対応を行うことにより、村内児童生徒全体の学力向上に対する支援を行っていく。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,262	9,376	7,501	1,875	886



資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、オンライン授業を実施しているのは1社のみとなっており、随意契約による契約は妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、県内の教員不足等の影響により4割ほどの執行残が発生した。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ウ		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域の発展に寄与する魅力ある高等教育環境の充実		
	Ⅲ-9-(2)						
事業内容	安心・安全に子育てできる環境を整備するため支援員を配置し、認定こども園を実施することで、保護者の育児への負担感を軽減する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a)当初予算額	9,500	9,500	14,000	18,000	18,000
		(b)予算現額	6,000	3,993	14,000	18,000	18,000
		(c)増減額(b-a)	▲ 3,500	▲ 5,507	0	0	0
		(d)繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	6,000	3,993	14,000	18,000	18,000
	B. 執行済額		5,428	3,993	12,594	17,688	14,793
	うち交付金充当額		4,342	3,194	10,075	14,150	11,834
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		90.5%	100.0%	90.0%	98.3%	82.2%
予算の状況の説明		支援員の体調不良等の欠勤に伴い、不用額の3,207千円が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	認定こども園支援員配置:6名	目標	(5名)	(5名)	(6名)	(6名)	
		実績	3名	延べ11名	延べ9名	延べ8名	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	こども園の支援員配置6名を予定していたが、一年間継続した人員を確保することができず、延べ8名の配置となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合(80%以上)を含め事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		100%	88%	90%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					

	進捗状況説明	本事業を活用した保育事業の実施により、安心・安全に子供を預けることができた事で、保護者の育児負担感が軽減されたとの意見を90%の方から頂いた。
--	--------	--

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	より良い育児環境を形成するために、預けられる対象年齢を0歳からとして考えているが、職員の産休等が相次ぎ、0歳対象幼児の受け入れを継続できない状況になった。	沖縄県が実施している支援事業等を活用し支援員等の確保に努め、預けられる対象年齢0歳児の再開できる環境を整える必要がある。
今後の取り組み方針		
・引き続き島内外から支援員を募集し、こども園へ支援員配置を継続的に行い、保護者の育児負担軽減に対する取組を実施していく。 ・アンケート検証による保護者からの様々な意見等を取り入れ、より良い子育て環境の整備を継続していく。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				

資金 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員については、村内求人・給料表に併せて適正に選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、支援員の体調不良等の欠勤により2割ほどの執行残が発生した。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-② 離島の児童生徒の交流促進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-5-(1)-ウ		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度		公平な教育機会の確保と学習環境の充実		
			沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-9-(2)		
事業内容	児童生徒の島外・県外へのスポーツや交流学習における派遣渡航費の補助支援を行い、競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせる。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a)当初予算額	3,000	4,000	4,000	3,917	3,946
		(b)予算現額	3,715	2,103	4,000	4,092	2,695
		(c)増減額(b-a)	715	▲1,897	0	175	▲1,251
		(d)繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		3,715	2,103	4,000	4,092	2,695
	B. 執行済額		3,598	2,103	2,373	4,092	2,557
	うち交付金充当額		2,878	1,682	1,899	3,273	1,965
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		96.9%	100.0%	59.3%	100.0%	94.9%
予算の状況の説明		派遣件数の減に伴い、1,251千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	渡航助成の実施	目 標	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	スポーツ大会派遣等(陸上競技・バドミントン競技大会・総合文化祭等)による県内への移動費助成を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	派遣された児童生徒が広い視野を持たせたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実 績		93%	100%	100%	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	本事業を活用した大会派遣等の実施により、児童生徒が広い視野を持つことができたとの意見を頂いた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	児童生徒数の減少により参加できる大会等が縮小されてきている。	小規模離島であり児童生徒数も減少しているため刺激を受ける機会が少ないことから他の大会等や練習試合等にも参加させてより広い視野を持たせたいと考えているが、学校の授業日数や島内イベント等が詰まっているため、利用に関する更なる検証が必要と考える。
今後の取り組み方針		
今後更に学校や教育委員会、PTA等と話し合いを持ち大会・練習試合等にも助成を拡充していけるか検討していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>2,557</td><td>2,457</td><td>1,965</td><td>492</td><td>100</td></tr> </table> 北大東村 2,457千円 補助金 2,457千円 北大東小中学校 10件 2,557千円 中学校バトミントン大会 中学校陸上大会 駅伝大会等 ほか、村負担分 (交付対象外経費) 100千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,557	2,457	1,965	492	100
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,557	2,457	1,965	492	100										
資金使途の流れ・点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金支出先について、生徒指導を実施しているのは1団体のみとなっており、選定は妥当であった。 ○予算規模については、概ね適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	北大東村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③ 離島特別医療質確保推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-2-(8)-ウ		
担当部署名	福祉衛生課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度		公平で良質な医療・福祉サービスの確保		
			沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-9-(2)		
事業内容	離島の不利益を克服し、特定重病患者等の健康を守るため、島内で対応できない医療サービスを受ける際の渡航費の一部助成や、島内に専門医療従事者を招聘し健康増進を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a)当初予算額	3,500	3,500	3,500	3,272	3,381
		(b)予算現額	2,288	909	3,500	3,646	4,632
		(c)増減額(b-a)	▲1,212	▲2,591	0	374	1,251
		(d)繰越額	—	—	—	—	—
		A.計(b+d)	2,288	909	3,500	3,646	4,632
	B.執行済額		1,821	909	2,671	3,646	4,632
	うち交付金充当額		1,456	726	2,137	2,917	3,703
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		79.6%	100.0%	76.3%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		特定重病患者等受診者の増に伴い、1,251千円を増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	特定重病患者の検診助成の実施	目標	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	専門医療従事者の招聘	目標	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
達成状況説明	事業制度の周知を図り、島内で受診対応出来ない、特定重病患者等の検診(95人/188回)に係る医療サービスを受ける際の沖縄本島への渡航移動費助成を行った。 また、専門医療従事者を招聘(1人/9回)して相談・検診(57人/133回)を行うことにより、村民の心身の健康に関する不安を解消した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	渡航費支援が必要な人への支援率:100%	目標	()	(100%)	(100%)	(100%)	()
		実績		100%	100%	100%	
	心身の健康に関する不安が解消されたか(80%以上)を含め、受診者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		100%	100%	100%	
	進捗状況説明	・支援が必要な方へ制度説明を行い、申請のあった方全てに対して支援を実施することができた。 ※支援率=(渡航支援した人)/(島外での診療が必要と診断された人) ・専門医療従事者による受診を要望する人へのアンケートを実施し、100%心身の健康に関する不安が解消されたと回答があった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	特定重病患者の検診助成制度が浸透してきたため、申請件数が前年比で約1.3倍増加したことにより、想定予算を上回った。	次年度も同様な事態が想定されるため、予算の増加を図り引き続き渡航費支援が必要な人へ支援できる環境を整える必要がある。
今後の取り組み方針		
引き続き島民の要望等に沿えるような形で今後も心身の健康に関する不安を解消していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>4,632</td><td>4,629</td><td>3,703</td><td>926</td><td>3</td></tr> </table> 北大東村 4,629千円 報償費 338千円 補助金 4,291千円 ほか、村負担分 (交付対象外経費) 3千円 専門医療従事者 338千円 特定重病患者等受診者 3,780千円 専門医療従事者招聘 514千円 報償費 北大東村専門医療要治療にかかる渡航費助成 北大東村専門職等招聘					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,632	4,629	3,703	926	3
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,632	4,629	3,703	926	3										
資金 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受診証明書・搭乗確認書等にて選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、概ね適正な規模であったと考えている。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	北大東村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-① 北大東村景観形成事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-3-(2)-ア		
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成26年度～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の振興	
事業内容	Ⅲ-1-(1)						
事業内容	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備(伐採・植栽)を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a)当初予算額	10,000	10,000	10,000	6,000	6,000
		(b)予算現額	10,000	10,670	12,486	6,000	6,000
		(c)増減額(b-a)	0	670	2,486	0	0
		(d)繰越額	—	—	—	—	—
		A.計(b+d)	10,000	10,670	12,486	6,000	6,000
	B.執行済額		9,845	10,670	12,452	5,940	5,720
	うち交付金充当額		7,876	8,536	9,961	4,752	4,576
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.5%	100.0%	99.7%	99.0%	95.3%
予算の状況の説明		不用額280千円については入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	村一周海岸道路の植樹環境整備:300m	目標	(300m)	(350m)	(300m)	(300m)	
		実績	300m	350m	300m	300m	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	マリンレジャー施設や観光ガイド施設等の観光基盤整備と合わせて、景観性が乏しい村一周道路の海岸沿いを地域性にあった植樹・環境に整備することにより観光誘客を図る。今年度は大東ピラミッド周辺の景観形成の環境整備を行った。全長9,000m 進捗率51.11%						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	村一周海岸道路の植樹環境整備 植樹工事等の完了:300m	目標	()	(350m)	(300m)	(300m)	()
		実績		350m	300m	300m	
	魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		88%	82%	87%	
進捗状況説明	・景観性が乏しい村一周道路の海岸沿いの大東ピラミッド周辺(300m)整備を行った。これまでの整備実績は4,600mとなっており全体(9,000m)の51.11%の整備が完了している。 ・観光客等へのアンケートを実施し、87%の方から魅力的な景観形成が図られたと回答があった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	前年度から引き続き文化的景観地区である、大東ピラミッド付近から北港の間のギンネム等の雑草が景観を悪くしていることが課題である。	島の観光資源であり文化的景観地区でもある大東ピラミッド付近から北港の景観形成を行うことが更なる観光誘客に必要である。
今後の取り組み方針		
既存の岩礁や風景などを活かしつつ、島の観光資源であり文化的景観地区でもある大東ピラミッド付近の植樹・景観形成整備を実施し更なる観光誘客に繋げる。また、整備対象は全長9,000mであり、令和13年度の整備完了を目標としており、平成26年度から計4,600mを整備済みであり、進捗率については、51.11%となっていることから引き続き整備を行い、観光景観の向上を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>5,720</td><td>5,720</td><td>4,576</td><td>1,144</td><td>0</td></tr></table> 北大東村 5,720千円 → 工事請負費 5,720千円 → (株)与儀組 5,720千円 北大東村景観形成整備					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,720	5,720	4,576	1,144	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,720	5,720	4,576	1,144	0										
資金の 流れ の 点 検 ・ 費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は指名競争入札により適正に選定しており、妥当であった。 ○予算規模については適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	北大東村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-① 土づくり推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-3-(7)-ア		
担当部署名	経済課	事業実施(予定)年度	令和3～令和13年度		おきなわブランドの確立と精算供給体制の強化		
			沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-1-(6)		
事業内容	大東島の土壌は、特殊な土壌であり作物栽培を行う上での悪条件な土壌であることから、圃場ごとに土壌カルテの作成を行い、圃場ごとに適した土壌作りを促進し、農産物生産量を増加させる。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和8年度)						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,000	—	5,000	—	5,962
		(b) 予算現額	12,000	—	3,960	—	5,962
		(c) 増減額(b-a)	0	—	—	—	0
		(d) 繰越額	—	12,000	—	3,960	—
		A. 計(b+d)	12,000	12,000	3,960	3,960	5,962
	B. 執行済額		0	11,990	0	3,960	4,510
	うち交付金充当額		0	9,592	0	3,168	3,608
	次年度繰越額		12,000	0	3,960	0	0
	執行率(%) (B/A)		0.0%	99.9%	0.0%	100.0%	75.6%
	予算の状況の説明		執行残については、事業計画変更で他事業へ計1,452千円の流用を行った。				
	活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況			
			R5年度	年度	年度	年度	
土壌カルテ作成		目標	(完了)	()	()	()	
		実績	完了				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	土壌カルテ作成が完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(H28-R4年度)	R5年度	年度	年度	目標値(R8年度)
	土壌カルテ作成	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	【令和8年度成果目標】 農産物生産量	目標	(24.376t)	()	()	()	(34.157t以上)
		実績					
	進捗状況説明	土壌カルテ作成が完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	北大東島の土壌特性は、高密度、強酸性であり、作物栽培上の悪条件な土壌となっており収穫量の低下に繋がるのが課題となった。	各圃場毎の土壌調査を行い、土壌カルテを作成し、各圃場に適した土壌作りを促進する必要がある。
今後の取り組み方針		
土壌カルテを参考に、各農作物に適した土壌になるようアドバイス等を行い農作物生産量を増加させる。		

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費			交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
4,510	4,510	3,608	902	0


```

graph LR
    A[北大東村  
4,510千円] --> B[委託料  
4,510千円]
    B --> C["沖縄農業技術開発(株)  
4,510千円"]
    C --- D["北大東村土壌カルテ作成委託業務"]
  
```

市町村名	北大東村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	北大東離島住民等交通コスト負担軽減事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ア	
担当部署名	総務課	事業実施 (予定)年度	令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	人流・物流のコスト低減と 情報通信基盤の強化		
事業内容	離島住民に係る航路及び航空路の運賃を低減することにより、本県離島地域の定住条件を整備し、当該地域における活力向上を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 □補助 ■負担 □その他()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R5年度				
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	1,355				
		(b)予算現額	1,355				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	—				
		A. 計(b+d)	1,355				
	B. 執行済額		1,192				
	うち交付金充当額		953				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		88.0%				
予算の状況の説明		当初見込みより利用者が伸びず、163千円の不用が生じた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
				R5年度	年度	年度	年度
	離島航空路線を維持するために、負担軽減支援が必要な人への支援率	目 標	(100%)	()	()	()	()
		実 績	100%				
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
達成 状況 説明	離島航空路線を維持するために、村民を対象とした航空券購入の負担軽減支援を行った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	年度	年度	目標値 (年度)
	離島航空路線を維持するために、負担軽減支援が必要な人への支援率	目 標	()	(100%)	()	()	()
		実 績		100%			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	離島航空路線を維持するために、負担軽減支援を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	コロナ禍や燃料価格高騰等さまざまな要因により離島の航空運賃の引き上げが4月18日より実施されたが、引き上げ運賃に対し負担額を交付することにより運賃の低減化を図り島民の負担軽減を実施した。 協定書の期限である10月17日以降については県事業である『離島住民等交通コスト負担軽減事業』の助成率を引き上げ航空運賃引き上げ前と変わらない運賃で利用できる現状となっている。	航空会社と運賃について随時意見交換を実施し、航空運賃の実態把握に努める。
今後の取り組み方針		
引き続き、離島住民に係る航路及び航空路の運賃を低減することにより、本県離島地域の定住条件を整備し、当該地域における活力向上を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>1,192</td><td>1,192</td><td>953</td><td>239</td><td>0</td></tr> </table> 北大東村 1,192千円 負担金 1,192千円 琉球エアークommuter株 1,192千円 北大東離島住民等交通コスト負担軽減負担金					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,192	1,192	953	239	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,192	1,192	953	239	0										
資金使途の流れ・点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○負担金支出先については、北大東島まで飛行機の運航を実施しているのが1箇所のみであることから、選定は妥当であると考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、概ね適正な規模であったと考えている。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において、協定書に基づいて支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	北大東村										
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	8-① 避難所強化事業				新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-2-(4)-イ				
担当部署名	総務課			事業実施(予定)年度	令和4年度～令和5年度		沖縄振興基本方針該当箇所		大規模災害等に備えた強くしなやかな県土づくりの推進		
事業内容	III-10-(2)										
事業内容	避難所の機能強化を図り災害発生時の安全性の確保を図る。										
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度 (年度)										
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()										
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R4年度		R5年度						
			(a) 当初予算額		38,000		33,788				
			(b) 予算現額		38,000		33,788				
			(c) 増減額 (b-a)		0		0				
			(d) 繰越額		-		-				
	A. 計 (b+d)		38,000		33,788						
			B. 執行済額		38,000		37,950				
	うち交付金充当額		30,399		30,360						
			次年度繰越額		0		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%		112.3%		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
予算の状況の説明 資材単価等の高騰により、他事業から5,094千円の流用を行った。 不用額932千円については入札残によるものである。											
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)			達成状況							
				R4年度		R5年度					
	各種避難所の雨戸設置	目 標	(整備)	(整備)	()	()					
		実 績	一部整備		整備						
		目 標	()	()	()	()					
		実 績									
達成状況説明	各種避難所の雨戸設置を実施した。										
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)			基準値(年度)	R4年度	R5年度	年度	目標値(年度)			
	避難所の安全性が向上されたか(80%以上)を含め、避難所利用者等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	()	()				
		実 績		83%	88%						
		目 標	()	()	()	()	()				
		実 績									
進捗状況説明	・避難所利用者等へのアンケートを実施し、88%の方から避難所の安全性が向上されたと回答があった。										

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	島内で指定されている避難所の全てに雨戸の設置を行った。	近年の異常気象による台風の大型化により、木造家屋に居住している島民等の避難者の増加が予測される。
今後の取り組み方針		
引き続き、避難所利用者等の意見を聴取しながら、より安全な避難所整備を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>37,950</td><td>37,950</td><td>30,360</td><td>7,590</td><td>0</td></tr> </table> 北大東村 37,950千円 工事請負費 37,950千円 (株)与儀組 37,950千円 北大東村内避難所 雨戸設置工事					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	37,950	37,950	30,360	7,590	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
37,950	37,950	30,360	7,590	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は一般競争入札により適正に選定しており、妥当であった。 ○予算規模については適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												